

英語学

| | | | |
|--------------|--------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 外国語学科英語分野 大沼 仁美 助教 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 外国語学科英語分野 | | |
| 担 当 教 員 | 大沼 仁美 助教 | | |
| 対象学年 | 1 | 区分・時間数 | 講義 21 時間 |
| 期 間 | 後期 | | |

・学習方針（講義概要等）

このコースでは、英語を言語学的観点から研究する英語学の諸分野を概観する。英語学は、コミュニケーションの手段として英語を捉えるのではなく、英語そのものが持つ特徴や規則性を観察し、それらを記述し、原理的に説明することを通じて、人間が有する言語能力を明らかにしようとする学問である。英語学は大きく統語論、形態論、音韻論、意味論の下位分野に分かれており、本コースではそれぞれの分野における研究対象や研究手法、基礎的なデータを紹介する。

・教育成果（アウトカム）

英語学の諸領域における基礎的な概念や研究手法を学ぶことで、英語を分析的に観ることができる。
（ディプロマ・ポリシー：8.9）

・到達目標（SBO）

1. 英語学の基本的な概念、研究手法を理解できる。
2. 英語の文を統語論的観点から分析することができる。
3. 英語の語を形態論的観点から分析することができる。
4. 英語の音を音韻論的観点から分析することができる。
5. 英語の語を意味論的観点から分析することができる。

・講義日程

（矢）東 206 2-D 講義室

【講義】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容/到達目標 |
|-------|----|----|---------------|----------|---|
| 9/7 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 英語学 序論 1. 言語学とは何か説明できる。 2. 言語学の様々な分野の違いを理解できる。 |
| 9/14 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第1章 英語学とは 1. 英語学とは何か説明できる。 2. 英語学の下位分野の違いを理解できる。 |
| 9/21 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第2章 統語論(1) 1. 統語論とは何か説明できる。 2. 統語論で用いる基本単位や、分析方法を理解できる。 |
| 9/28 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第2章 統語論(1) 1. 句構造規則とは何か説明できる。 2. 文の構造を樹形図で表すことができる。 |
| 10/19 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第3章 統語論(2) 1. 文の構造を樹形図で表すことができる。 |
| 10/26 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第4章 形態論 1. 形態論とは何か説明できる。 2. 形態論で用いる基本単位や、分析方法を理解できる。 |
| 11/2 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第4章 形態論 1. 語を形態素に分けることができる。 2. 語の構造を樹形図で表すことができる。 |
| 11/9 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第4章 形態論 1. 語を形態素に分けることができる。 2. 語の構造を樹形図で表すことができる。 |
| 11/16 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第5章 音韻論 1. 音韻論とは何か説明できる。 2. 音韻論で用いる基本単位や、分析方法を理解できる。 |
| 11/30 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第5章 音韻論 1. 発声器官の名称と場所を説明できる。 2. 子音の音声記号を理解できる。 |
| 12/7 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第5章 音韻論 1. 母音の音声記号を理解できる。 2. 英語のリズムについて理解できる。 |

| | | | | | |
|-------|---|---|---------------|----------|--|
| 12/14 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第5章 音韻論 1. 英語の様々な音の変化の仕組みを理解できる。 |
| 12/21 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第6章 意味論 1. 意味論とは何か説明できる。 2. 意味論で用いる基本単位や、分析方法を理解できる。 |
| 1/4 | 木 | 2 | 外国語学科 英語分野 | 大沼 仁美 助教 | 第6章 意味論 1. 語の意味を成分分析できる。 |

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|--------------------|-------|-------|------|
| 教 | ファンダメンタル英語学 改訂版 | 中島 平三 | ひつじ書房 | 2011 |

・成績評価方法

| |
|--|
| <p>1. 定期試験 60%</p> <p>2. 小テスト、提出物、参加態度など 40%</p> |
|--|

・特記事項・その他

| |
|---|
| <p>1. 事前学修及び事前学修時間 予習ポイント：次回の授業の範囲には予め目を通しておく。一読し、理解が難しいと感じた点を書き留めておく。事前学修の時間は最低 30 分を要する。 復習ポイント：授業中に理解しきれなかったところを見直したりや、重要なポイントを自分の言葉で簡単にまとめておく。必要によって次回の授業で質問できるようにしておく。 2. 小テストは採点後に返却・解説する。また、提出物を課した場合は添削後コメントを付して返却する。</p> |
|---|

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|----------|----|------|
| | | | |

登録済の機器・器具はありません